

また軽度・中等度難聴者への補聴器購入費助成では、対象要件と助成額を拡充します。

## 産業 産業の基盤強化

### ◆農業の振興

持続可能な農業体制への支援では、スマート農業の普及促進と、環境への配慮を推進します。

農業の基盤整備では、圃場整備やため池整備などの面的整備と、農業用施設の機能維持と長寿命化を支援します。

鳥獣対策の強化では、クマ等の出没が増加し、人身被害や農作物被害の防止が急務です。環境整備と適切な駆除により、被害の未然防止に努めます。

### ◆林業の振興

森林経営体制の確立では、林業経営に適さない森林は町が代わりに管理を担うことで、林業の活性化と適切な森林管理に努めます。

### ◆水産業の振興

今年度策定した漁業振興計画のもとに、漁業の推進と、課題解決に向けた取り組みを支援します。

### ◆商工業の振興

資格取得支援事業を継続し、地域雇用創出推進事業の一部拡充を図ります。求人情報の発信や外国人労働者の受入支援により、経営強化や事業継承を支援します。

地域内での経済循環への支援では、商品券の発行やデジタル地域通貨導入を支援します。

### ◆新たな産業創出と起業支援

2050年カーボンニュートラルの達成を目指し、エネルギーの地産地消と地域での経済循環を図り、地域エネルギー会社の設立を支援します。

### ◆多様な働き方への対応

多様な働き方や育児・介護との両立を図るため、男女共同参画の啓蒙活動と環境整備を進めます。

## コミュニティ 持続可能な地域

### ◆地域コミュニティの活性化支援

自治会活動の研修会や、自治会への助成、住民共助による地域づくり活動助成を継続します。

### ◆災害・危機に強いまちづくり

地域防災力の向上では、河川の氾濫想定区域が更新されたため、ハザードマップの冊子版を全戸配布し、避難行動が迅速に行える体制整備を図ります。

地域防災力の向上では、消防団員の活動服を新たに更新します。

### ◆循環型まちづくり

2050年カーボンニュートラル達成を目指し、住民への啓発活動や、地域エネルギー会社の設立へ参画し、官民連携による三種モデルを構築します。

ごみの減量化・廃棄物の適正処理の推進では、4月から稼働する能代山本クリーンセンターへのごみ収集運搬体制を整備します。

### ◆空き家対策の推進

空家等実態調査の結果を空き家台帳として管理し、危険な空き家の解体を促します。また、管理が不適切な空き家は特定空家等に認定し、行政指導を行います。

### ◆生活環境の整備

広報みたねは毎月発行のほか、町誕生20周年の歩みをまとめた特集号を発行します。

社会生活でのデジタル活用では、通信インフラ整備と維持管理を計画的に進め、官民連携でDXを推進します。また引き続きマイナンバーカードの取得を促し、「書かない窓口」など住民サービスの向上を図ります。

安全な道路環境の維持では、生活道路や通学路の維持管理を優先して行い、橋梁などの道路施設の長寿命化を進め、安全安心な道路環境の整備に取り組みます。

水道施設の整備では、水道アセットマネジメント計画策定により、施設の計画的な更新や耐震化に取り組み、引き続き漏水調査や老朽化施設の更新に努めます。

また効率的な施設の維持管理と適切な財源確保に取り組み、安全安心な水道水の供給に努めます。水道未普及地域では、施設整備の支援を継続して実施します。

下水道施設の整備では、公共下水道・農業集落排水への加入と合併浄化槽の設置を促し、水質保全と生活環境の向上に努めます。

また施設の統廃合や効率的な汚水処理施設の整備のほか、不明水対策に努めます。

### ◆持続可能な公共交通体系の維持

住民共助のふれあいバス・巡回バスの運行を継続します。また、休日等のさまざまな移動ニーズへ対応するため、自治体版ライドシェアの導入を検討します。

## 人を呼び込む 選ばれるまちづくり

### ◆転入者の増加対策

選ばれるまちづくりを推進するため、首都圏の町出身者とネットワークを構築し、ふるさと回帰や移住のニーズ把握に努めます。

### ◆観光資源の活用と交流人口の拡大

森岳温泉活性化協力会と連携し、温泉街の賑わい創出やスポーツ文化合宿等誘致による関係人口の拡大に加え、新たにサテライトキャンパス誘致により、地域活性化や関係人口の創出、新たな人材の定着を推進します。

